

平成19年11月2日

架線・バッテリーハイブリッドLRVの電機品を東洋電機が担当

東洋電機製造は、平成19年10月25日に財団法人鉄道総合技術研究所（以下 鉄道総研）が公開したハイブリッドLRV（Light Rail Vehicle）に、コンバータ装置、駆動用インバータ装置、補助電源装置、歯車装置、主電動機及びパンタグラフを製作・納入しました。

このLRVは独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの委託により、鉄道総研が開発を進めていたもので、複数の架線電圧に対応し、蓄電池を車載することで架線と蓄電池のハイブリッド制御機能をもち、充電した蓄電池のエネルギーにより架線が無い区間(架線レス)でも走行できます。特に今回当社が納入したコンバータ装置は、今回のシステムの要の一つとなっており、駆動用インバータと組合わせて複雑なエネルギーの流れの制御を司ることになります。

今後、LRVは環境対応やバリアフリーの観点から需要が見込まれることから、当社もこの開発に積極的に参画し、排気ガスを出さず都市景観を尊重する環境に優しい都市交通への製品の提供を通じて、市民生活の向上に貢献していきたいと考えています。



コンバータ装置

架線・バッテリーハイブリッドLRV：
（財）鉄道総研提供

【当件に関するお問合せ先】

東洋電機製造株式会社 企画部 企画・IR・CSRグループ
電話番号 03-3535-0633

